

令和6年度 7月定例

教育委員会会議 議事録

令和6年(2024年)7月30日

吹田市教育委員会

令和6年度7月定例教育員会会議

開催日時	令和6年(2024年)7月30日 14時00分～17時20分
開催場所	吹田市総合防災センター(DRC Suita)8階 研究室A
出席委員	教 育 長 大江 慶博 教育長職務代理者 安達 友基子 委 員 福田 知弘 委 員 和田 光代 委 員 飴野 仁子 委 員 谷池 雅子
出席説明員	学 校 教 育 部 長 山下 栄治 地 域 教 育 部 長 道場 久明 教 育 監 植田 聡 学校教育部次長教育総務室長兼務 乾 裕 学校教育部次長学校教育室長兼務 角田 睦 地域教育部次長放課後子ども育成室長兼務 堀 哲郎 青 少 年 室 長 大川 雅博 学校教育室参事・指導主事 西 慎一郎 青少年クリエイティブセンター館長 曾我 明史 学 校 教 育 室 主 幹 古川 悠紀 学校教育室主幹・指導主事 置田 晃志 学校教育室主幹・指導主事 吉川 優莉 学校教育室主幹・指導主事 島野 良太 教育未来創生室主幹・指導主事 松本 直史 教育センター主幹・指導主事 西原 誠章 教育センター主幹・指導主事 山埜 善昭 教 育 セ ン タ ー 主 幹 栗林 秀明

議事内容

○大江慶博教育長

ただいまから、7月定例教育委員会会議を再開いたします。

署名委員に安達職務代理者を指名いたします。

本日の傍聴席の数について事務局から説明してください。

○乾裕学校教育部次長教育総務室長兼務

本日の傍聴席設置可能数は50席で、現在の傍聴希望者数は24名でございます。

○大江慶博教育長

それでは、本日の傍聴は50名まで許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○大江慶博教育長

では異議なしと認め、本日の傍聴は50名まで許可します。

－ 傍聴者着席 －

それでは、傍聴人の入室が終わりましたので、教育委員会会議を再開いたします。

次に、本日の日程第12、議案第63号及び日程第13、議案第64号については、人事案件のため、吹田市教育委員会会議規則第5条第1項の規定により、秘密会としたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○大江慶博教育長

異議なしと認め、日程第12及び日程第13を秘密会とすることに決定いたします。

それでは、議案審議に入ります前に、本日の教科用図書採択の議事運営につきまして、私から

御説明をいたします。過日7月28日、日曜日と同様、議案審議に入りましたら、まず、担当指導主事より、選定委員会からの答申について説明を受けます。会議の進行上、職員の説明や応答は着座にてお願いします。質疑応答の後、委員お一人ずつ意見を表明していただきます。各委員からの意見を踏まえ、採決を行います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項に基づき、出席者の過半数の賛成により決し、可否同数の時は教育長が裁定いたします。

それでは、日程第1、議案第52号「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 音楽（一般）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○西原誠章教育センター主幹・指導主事

それでは、別表1-9、令和7年度使用教科用図書中学校用 音楽（一般）の選定具申を発行者順に御説明しますので、よろしくお願いします。

まず、「教育出版」です。第1学年、巻頭8ページを御覧ください。こちらにある学習MAPは、各教材を歌唱・鑑賞・創作の3分野に分けて示し、見通しを持って学習に取り組めるように工夫されております。また、学習MAP右下の「学習の進め方」には、「音楽を形づくっている要素」を手がかりに「何を学ぶのか」が明示されており、単元の目標が分かりやすく示されております。

続きまして、38ページを御覧ください。こちらの「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」では、創作の導入として、身近な言葉から2小節程度の歌を作る活動が取り上げられており、生徒が主体的に取り組みやすい工夫がされています。

続きまして、第2・3学年下、34ページから37ページを御覧ください。「ブルタバ」「フィンランディア」といった国民楽派の作曲家について取り扱うことで、社会科歴史分野と関連づけ、学習を深めることができよう工夫されております。

次に教育芸術社です。第1学年、8ページを御覧ください。こちらには表現領域と鑑賞領域の学習内容が整理され、各教材との関係を分かりや

すく一覧で示しております。それぞれの教材でどのようなことを学習するのか、確認しながら主体的に学習を進めることができるよう工夫されております。また、9ページの右半分には「音楽を形づくっている要素」の説明がまとめられており、例えば次の10ページの左下のように、各教材の最初のページの左下に、その教材で学ぶ「音楽を形づくっている要素」を示し、音楽の見方・考え方を明確にし、教材への理解が深まるよう工夫されております。

続きまして、26ページを御覧ください。歌唱分野や鑑賞領域において、こちらのページのように、自身が考えたことや気づいたことについて記入するワークシートがあり、自己の学びを振り返ったり、周りとの対話を通した協働学習によって、その考えを深めたりすることができるよう工夫されております。

最後に、15ページを御覧ください。15ページ下段には、変声期について詳しく説明されております。性差のフォローや、変声の始まっていない生徒への配慮についても記載されており、生徒の発達段階や人権について十分に配慮されております。

説明は以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

それでは、審議に入ります。御質問・御意見がありましたらお願いします。

○福田知弘委員

日本の和楽器や伝統音楽については、どのように取り扱われていますか。

○西原誠章教育センター主幹・指導主事

まず、「教育出版」につきましては、2・3年の上、58ページにおきまして、「郷土の音楽や芸能」として、様々な場所で演じられる音楽や芸能について、使用される楽器や編成について説明しております。

「教育芸術社」につきましては、第1学年の50

ページを御覧ください。こちらには「日本音楽入門」で、年表の形で伝統芸能の変遷について分かりやすく整理されております。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

では、ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

鑑賞教材について、どのように取り扱われているか教えてください。

○西原誠章教育センター主幹・指導主事

シューベルト作曲の「魔王」を例にとって御説明いたします。

「教育出版」、第1学年48ページを御覧ください。初めに、生徒が物語の理解をしやすいよう、歌詞の要約を掲載し、また、ほかの作曲者が同じ詩をもとに作曲した「魔王」と比較することで多様な表現方法の違いを聞き取れるよう工夫がされております。

「教育芸術社」につきましては、第1学年46ページを御覧ください。登場人物それぞれの旋律の雰囲気や歌い方の違いを、またその次、49ページでは、生徒が曲想の変化についてより深く感じ取ることができるよう、ピアノ伴奏と歌詞の関わり方や、作曲者の工夫について示すなど、鑑賞のポイントを示す工夫がされております。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

取り扱われている教材数や、楽曲のジャンルに発行者間の違いがあるか教えてもらえますか。

○西原誠章教育センター主幹・指導主事

どちらの発行者も共通教材に加え、日本の伝

統音楽、ポピュラー音楽、民族音楽、西洋音楽等バランスよく取り扱われております。取り扱われている全学年の教材数についてですが、「教育出版」は表現領域が48教材、鑑賞領域が26教材、巻末合唱曲が31教材、合わせて全学年で105教材です。

「教育芸術社」につきましては、表現領域が46教材、鑑賞領域が27教材、巻末合唱曲が22教材、合わせて全学年で95教材があります。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

主体的・対話的で深い学びが実現されるように工夫されていることがあったら教えてください。

○西原誠章教育センター主幹・指導主事

「教育出版」では、例えば第1学年16ページにございます「Active」というところで主体的・対話的で深い学びが実現する工夫がされております。一人一人が調べたり考えたり、感じたりしたことを整理し、交流できる場面を幾つかの教材で設定しております。その教材をより深く学べる工夫がされております。

「教育芸術社」につきましては、第1学年45ページを御覧ください。45ページにございます、「学びのコンパス」として、一人一人が気づいたことや考えたことを整理し、グループで話し合い、考えを深め、その学びを生かして表現方法を工夫することや、改めて鑑賞を行い、さらなる気づきを見つけるといった工夫がされております。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

二次元コードについて、各社特徴はありますか。

○西原誠章教育センター主幹・指導主事

二次元コードにつきましては、各発行者のQRコード記載数ですが、「教育出版」につきましては全学年合わせて38。「教育芸術社」は124となっております。

次に特徴としましては、「教育出版」は歌唱分野で、情景の映像がついた範唱動画、鑑賞領域では楽器別の動画や演奏している音源がございます。

「教育芸術社」は歌唱分野では、合唱曲のパートごとの音源、創作分野では、実際に音楽を演奏できる創作ツールが用意されています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

では、私からも1点、国家「君が代」について、どのように取り扱われているか御説明ください。

○西原誠章教育センター主幹・指導主事

「教育出版」は、歌詞の大意やさざれ石の写真、国家の斉唱される場面の写真とともに掲載されており、「国歌」に込められた思いや願い、そのような気持ちで尊重し合う大切さが掲載されています。

「教育芸術社」は、全学年最終ページに、歌詞の大意やさざれ石の写真とともに掲載されております。また、「国歌・国旗と国際的儀礼」としまして、オリンピックやパラリンピック等の国際試合で「君が代」が斉唱されている場面を写真で紹介し、「君が代」への興味・関心を高めるとともに、他国の国歌や国旗についても尊重する態度が養われるよう、配慮や工夫がされております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

ほかに御質問はありますか。

では、質問も出尽くしたようですので、音楽（一般）についての審議を終了いたします。

それでは、議案第52号「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用、音楽（一般）の採択について」各委員の御意見をお伺いしたいと思います。

和田委員からお願いします。

○和田光代委員

私は、音楽は「教育芸術社」を推したいと思います。理由としましては、各単元、教材がすっきりと見やすく、説明が身近な言葉で分かりやすくまとめられている。音楽で身につけたい資質能力が一目で分かるように示されていること、あとはQRコンテンツが非常に充実しているということで、歌唱、鑑賞、創作と、いずれの内容も工夫があり、取り組んでいる中で生徒は音楽活動の楽しさを体験しながら、音楽で獲得したい資質能力を身につけていくのではないかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。和田委員は「教育芸術社」ということです。

では福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私も「教育芸術社」がいいと考えております。理由は、先ほど説明もありましたけれども、学習指導要領の指導事項とそれぞれの教材についてのつながりで巻頭で構造的に整理されているということ、それから実技の分野でもありますので、QRコードの先にデジタルコンテンツが充実していて、自ら学ぼうと思うと学ぶことも可能であるという、そのあたりの構成が非常にしっかりとしているという理解です。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

安達職務代理者、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

私も「教育芸術社」がいいと思いました。理由は各委員がおっしゃったとおりですけど、ちょっとしたことですけれども、説明、解説の部分がやや分かりやすいかなということと、デジタルコンテンツの充実が特にいいかと思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私も「教育芸術社」を推薦したいと思います。理由は構成のバランスがいいなということと、単に鑑賞だけではなく、文化の背景もそうですし、それから聴いて終わるだけじゃなくて、じゃあやってみようということだったり、いろいろなところで配慮がされておりました。

もう一社も決して悪いものではないのですけれども、「教育芸術社」にしたいと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

ありがとうございます。私は28日に申し上げたことと同じですけども、一応自分の選定のやり方ということオープンに話をしようと思います。私は東京都、大阪府、兵庫県で従来どのような教科書が採択されていたかということをサーチし、なおかつ現場の先生からなる選定委員会の御意見を拝見し、さらに現場で教科書が変わるとやはりとても準備に時間がかかって大変だということをお話を伺っていますので、働き方改革が進められる今、優劣がつけ難いようなものがある場合は、吹田市で前回に採択した教科書をという、そ

う3つの前提のもとに自分も一応内容を確認して、推しの教科書を選ばせていただいております。ちょっと長くなって失礼しました。

ということで皆さんのお話が出そろったので、同じ意見です。レイアウトがやはり「教育芸術社」のほうが分かりやすいと思いますので、私はそれを推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「教育芸術社」を支持したいと思います。歌唱教材は変声期等の発達段階に応じた教材を提示しているなど、動画コンテンツも活用しながら音楽活動の楽しさを体験し、愛好する心情の育成が期待できることから選びました。いずれの発行者も巻末に10曲程度の歌唱教材を載せていますが、国家「君が代」の扱いは異なっており、歌唱教材とは区別して扱っていることも評価をいたしました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

それでは皆さん、「教育芸術社」を支持するということですが、「教育芸術社」を採択することに御異議ございませんでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第52号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 音楽（一般）の採択につきましては、「教育芸術社」を採択することといたします。

次に日程第2、議案第53号、「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 音楽（器楽合奏）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○栗林秀明教育センター主幹

それでは、「別表1-10、令和7年度使用教科用図書中学校用 音楽（器楽）」の選定具申を発行者順に御説明しますので、よろしくお願いいたします。

まず、音楽（器楽）につきましては、2つの発行者がございますが、両者ともQRコードを読み取り、その楽曲における動画や音声データなどを活用できるようにするなど、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されております。また、ユニバーサルデザインのフォントを用い、多くの写真やイラストを分かりやすく配置するなど、視覚的にも配慮されたものとなっております。

各社の特徴について御説明いたします。まずは「教育出版」からです。「教育出版」は、教材ごとに学習の目当てが示されることや、教材性を生かした関連・対照・対比という視点にも注目して学習が進められるように配慮されております。

リコーダーにつきましては、短くまとめられた二重奏の曲が多く掲載されており、生徒がハーモニーの豊かさや美しさ、アンサンブルの楽しさを体験することができます。14ページを御覧ください。楽譜にコードも記載されており、ピアノやギターなどの楽器を組み合わせたアンサンブルも可能となっております。

続いて、40ページを御覧ください。日本の伝統音楽や和楽器についても適切に取り上げられており、各楽器が作られた背景や歴史、当時の文化などについて分かりやすく解説されております。

また30ページを御覧ください。同属楽器を紹介して、楽器や音の特徴を比較しながら、それぞれのよさに気づくことができる配慮もされております。

続いて、「教育芸術社」の特徴について御説明いたします。16ページを御覧ください。生徒が見方・考え方を養うことができるよう、学習の目当てや「音楽を形づくっている要素」が教材ごとに示されております。また学習目標に迫るための活動や、考えたいポイントが示されており、深い学びにつながるよう配慮されております。さらに、学びのコンパスやQ&A、コラムが効果的に随所に

設けられており、生徒の学びをさらに深める工夫がされております。歌唱での共通教材として扱われている作品を取り上げ、実際に楽器を用いて演奏することで、教材同士の連携が図られ、より深い理解に結びつけられるように配慮されております。

続いて、15ページを御覧ください。リコーダーにつきましては、中学校で新たに学習するアルトリコーダーの楽譜に合わせて、小学校で使っていたソプラノリコーダーの楽譜も掲載しており、生徒の発達段階に応じて円滑に小学校から中学校への移行ができるよう配慮されております。アンサンブルにおいては、これまでに学んだ様々な楽器が組み合わされた楽譜が掲載されており、発展的な学習へとつなげることができるよう工夫されております。

続いて、70ページを御覧ください。和楽器が伝統の枠を越えて活躍する様子を紹介することで、我が国の伝統的な音楽や楽器への親しみを持てるように工夫されております。また、諸外国の音楽文化に対する理解も深められるように、様々な国の楽曲も取り上げられております。

続いて、68・69ページを御覧ください。「バンドの世界をのぞいてみよう」という形でバンドの楽譜を紹介するなど、生徒が興味・関心を持つような音楽活動を効果的に取り入れる工夫がされております。

音楽（器楽）については、以上でございます。

○大江慶博教育長

それでは、審議に入ります。御質問はございますでしょうか。

○和田光代委員

生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫として、それぞれの発行者の特徴的な内容を教えてください。

○栗林秀明教育センター主幹

「教育出版」の12ページ・13ページを御覧ください。リコーダーを例に取りますと、見開きごと

に学習を見通すことができる構成となっており、左上に「学びのねらい」が記載されております。順に曲を練習しながら右側の「まとめの曲」をゴールとして学習できるよう配列されております。

続いて、「教育芸術社」の15ページから18ページを御覧ください。「学びのコンパス」、「Q&A」や「コラム」が効果的に随所に設けられており、目標とする学習内容について考えたいポイントなどが明確に示されております。また、意見交流しやすい内容となっており、対話を通して自分の考えを広げ深めることができるように配慮されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○福田知弘委員

ICTの活用について、工夫されている点はあるですか。

○栗林秀明教育センター主幹

「教育出版」では、掲載されているQRコードでその曲の演奏動画を見たり、演奏を聴いたり、また楽器についての資料を見ることができるようになっております。

「教育芸術社」では、掲載されているQRコードで楽器演奏での姿勢や構え方、奏法の動画を見たり、伴奏を流したり、旋律の創作をすることができるようになっております。また、ワークシートや演奏者についての紹介なども生徒用端末で取り込んで、学習に生かすことができるように工夫されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

掲載されている曲について、各発行者でどのような特徴がありますか。

○栗林秀明教育センター主幹

「教育出版」の98ページから101ページを御覧ください。「名曲旋律集」では、一部の鑑賞教材・歌唱教材に関する旋律と、生徒に聴きなじみのある旋律が掲載されております。

続いて「教育芸術社」の96ページから99ページを御覧ください。「楽器でMelody」では、生徒が興味・関心を持って楽器演奏に取り組むことができる幅広いジャンルの曲が掲載されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

和楽器の取扱いについて、各社の特徴を教えてください。

○栗林秀明教育センター主幹

琴を例にとります。「教育出版」の40ページから47ページを御覧ください。楽譜については五線譜を中心に縦譜も併記されており、曲を学習しながら様々な奏法を学ぶ配列になっております。

続いて「教育芸術社」34ページから43ページを御覧ください。楽器の奏法に関するだけでなく、姿勢や礼儀などについてのコラムも掲載されており、伝統や文化についても適切に配慮されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

生徒が学習する上で興味・関心を持つような工夫として、2社の発行者にはどのような特徴がありますか。

○栗林秀明教育センター主幹

「教育出版」の4ページを御覧ください。近年話題となっておりますストリートピアノの紹介があり、身近な例から生徒の興味・関心を引きつけるとともに、音楽と生活、そして社会との関わりについて、生徒が改めて考えられるように工夫されております。

続いて、「教育芸術社」68ページから70ページを御覧ください。生徒の興味・関心・意欲を高めて学習できるように「バンドの世界をのぞいてみよう」や「伝統の枠を越えて演奏する和楽器」などの紹介なども掲載されており、生徒が興味・関心を持つような音楽活動を効果的に取り入れております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかにございませんでしょうか。

では、質問も出尽くしたようですので、音楽（器楽合奏）についての審議を終了いたします。

それでは、議案第53号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 音楽（器楽合奏）の採択について、各委員の御意見をお伺いします。

福田委員からお願いします。

○福田知弘委員

私は「教育芸術社」がよいと思いました。先ほども説明にありましたように、小学校の学びの関連性を意識する内容、すなわちソプラノリコーダーとアルトリコーダーが併記されているというところですか、先ほどの音楽（一般）でも申し上げましたけれども、学習指導要領とのつながりが非常に巻頭にあって分かりやすいということがあります。そのほかにも「バンドの世界をのぞいてみよう」とか、同世代の音楽の活動をうまく取り入れ

ようとする構成なども評価いたしました。
以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。
安達職務代理者、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

私も「教育芸術社」がいいと思いました。音楽（一般）と同じほうが分かりやすいのではないかなというのもあったのですけれども、この器楽単体で見ても、やはりリコーダーのところでも手元の写真がアップで載っていたりとか、そういったことも分かりやすいのではないかなと思いました。
以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。
飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私も音楽の教科書と即しているというのがいいのではないかなと、それから楽器を音楽の世界へ誘うところで、実際に楽器なんかに触れるところもそうですし、一つ一つのページの中で紙面にぎゅっと情報が入っていて、またそこへ引き込んでいくような、そのような印象を持ちました。ということで「教育芸術社」を推薦したいと思います。
以上です。

○大江慶博教育長

では続いて、谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

内容に関しては皆様がおっしゃったとおりです。採用実績と選定委員会等の現場の意見というのを合わせますと、私も「教育芸術社」を推します。
以上です。

○大江慶博教育長

では和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私も「教育芸術社」がいいと思います。理由としては、皆さんがおっしゃるのと同じような内容になります。子供たちが興味・関心を持てるような工夫が様々なところにされていて、楽器を使わず体を楽器として使っていくものがあったのですが、「Bodipa Beats Z」という曲があるのですが、それなんかは子供たちが楽しみながらやるのではないかなというふうに思いました。
以上です。

○大江慶博教育長

私も「教育芸術社」を支持したいと思います。生徒にとっては既に身近な楽器となっているソプラノリコーダーを新たな楽器であるアルトリコーダーの導入にうまく活用しており、音楽表現に必要な新たな技能取得のための工夫が全体を通して認められることを評価いたしました。20曲ほどアンサンブル曲の紹介がありますが、これまでの学びや経験を生かした活動が期待できると考えます。

○大江慶博教育長

それでは、音楽（器楽合奏）につきましては、皆さん「教育芸術社」を支持するということですので、「教育芸術社」を採択することに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第53号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 音楽（器楽合奏）の採択につきましては、「教育芸術社」を採択することといたします。

次に日程第3、議案第54号、「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 美術の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○古川悠紀学校教育室主幹

それでは、別表1ー11、令和7年度使用教科用図書中学校用の選定具申、種目、美術について発行者順に御説明いたします。

各社共通する事項として、誰もが使いやすい、形・色・機能を考えたデザインとしてユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすく配慮されています。また、どの出版社についても单元ごとに学習する領域や目標などが整理され、育成すべき資質・能力が生徒にも分かりやすい形で明確に提示されています。また、安全の確保や事故防止については、マークをつけて強調し、動画で安全のポイントについて解説されています。

それでは、各社の特徴について教科書で例を示しながら、説明いたします。

まずは「開隆堂出版」です。「開隆堂」の特徴について、1年の教科書を使って説明いたします。まず、「図画工作から美術へ」というページが設けられており、小学校から進学してきた中学1年生が、中学校で図画工作から美術への変化に対して、壁を感じず意欲が高められるように配慮されています。

次に、表紙を御覧ください。表紙の質感に変化をつけ、触覚からもテクスチャーが与える印象の違いに気づかせるような工夫がされています。

次に、58ページを御覧ください。制作のヒントが欲しいときには、すぐに参照することができるように「発想・構想のヒント」のページが設けられており、生徒自らが参考資料を選択して進めることができるように配慮されています。

QRコンテンツが充実しており、立体的な作品を回転させて鑑賞できるコンテンツや、作品解説、技法に使用できる動画が充実しています。

次に、「光村図書出版」です。「光村図書出版」について、2・3年の教科書を使って説明いたします。まず、別冊の資料を御覧ください。別冊の資料には、3年間を通して使う材料や用具がまとめられており、生徒自ら必要に応じて参照できるように構成が工夫されています。

2・3年教科書27ページからを御覧ください。多様な切り口の鑑賞活動が行えるよう、和紙のような風合いのある用紙で日本の絵画を味わえる工夫がされています。

QRコンテンツが豊富に掲載されており、立体的な作品を回転させて鑑賞できるようなコンテンツや作品解説、技法、授業の導入に使用できるような動画が充実しています。

最後に「日本文教出版」です。「日本文教出版」について、1年生の教科書を使って説明いたします。「ようこそ、美術の学びへ」というページが設けられており、発達の段階に応じた学びを重視し、美術1では、新しい見方などから美術の楽しさを感じられる設定に、美術2・3上では、試行錯誤を繰り返すことで知的理解が深まるような設定され、美術2・3下では、自己を深く探求する題材が設定され、自分らしい価値観が形成されるように配慮されています。

次に、1年生の26ページ・27ページを御覧ください。屏風を実際に折って、現実に近い視点で鑑賞することができます。そのため、再現性が高く、よりリアリティをもって鑑賞することができるように工夫されています。また、形・色彩・材料・光などの性質を生徒が自身の考えて捉え、造形的な視点を豊かにするために活用できる知識として、実感しながら身につけていける内容となっております。

次に、58ページを御覧ください。制作のヒントが欲しいときには、すぐに参照することができるように「発想・構想の手立て」のページが4ページ設けられており、生徒自らが参考資料からヒント得て、表現活動や鑑賞の活動を進めることができるように配慮されています。

QRコンテンツが非常に豊富に掲載されており、生徒自ら参考資料を選択して進めることができ、学習の個性化に向いております。また、作品の解説、技法、授業の導入に使用できるような動画も充実しています。生徒自身が主体的に考えて表現につなげることができるコンテンツとなっており、映像を途中で止めて考えさせるなど、授業の導入にも使いやすい工夫がされています。

美術については以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

それでは、審議に入ります。御意見・御質問はございますか。

○和田光代委員

小学校とのつながりについて、各発行者でどのように配慮されているか教えてもらえますか。

○古川悠紀学校教育室主幹

各発行者とも、第1学年の最初に、小学校のつながりについてのページを設けております。「開隆堂出版」は、1年生の2ページを御覧ください。「図画工作から美術」として、小学校図画工作の学習と、中学美術科での学習の関連と発展性について分かりやすく提示するページを設定し、生徒が美術科の学習への意欲を自ら高めることができるように工夫がされています。

次に、「光村図書出版」1年生の10ページを御覧ください。「美術の扉をひらこう」というページを設け、小学校の図画工作との接続を意識した手厚いオリエンテーションが設定されております。

最後に、「日本文教出版」の1年生、6ページを御覧ください。「ようこそ美術の学びへ」として、小学校の図画工作から中学校の美術科の造形的な視点を育みながら学んでいけるよう、見開きで掲載され、3年間の学びの見通しを持って、学びを深められる工夫がされています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

吹田市に関連することについて、記載されているページがあったら教えてください。

○古川悠紀学校教育室主幹

まず「開隆堂出版」については、1年の3ページを御覧ください。「太陽の塔」を取り上げており、岡本太郎氏の言葉を掲載しています。

次に、「光村図書出版」を御覧ください。1年生の教科書を御覧ください。64・65ページを御覧ください。国立民族学博物館に収められている、世界の仮面を取り上げております。また、2・3年生の教科書、表紙の裏を御覧ください。「太陽の塔」を掲載しております。

最後に、「日本文教出版」は2・3年生上、50ページを御覧ください。2ページにわたって、岡本太郎氏の作品を「太陽の塔」をはじめ多数取り上げております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

ほかに御質問はありますか。

○福田知弘委員

各社、たくさんの写真や作品が掲載されていますけども、生徒が学びを深めるための効果的な使われ方は、各社でどのような特徴がありますか、教えてください。

○古川悠紀学校教育室主幹

「開隆堂出版」においては、2・3年45ページを御覧ください。細部を拡大し分かりやすく示し、より繊細な表現まで鑑賞できるようになっております。意見交流会においても表紙の工夫がよく、わくわくするとの意見がありました。

次に、「光村図書出版」について2・3年、27ページを御覧ください。先ほども申し上げましたが、和紙のような風合いのある紙を挟み、生徒が日本の絵画を味わえるように工夫されております。

最後に、「日本文教出版」についてでございます。1年生の26・27ページを御覧ください。こちら先ほども申し上げましたが、見開きで屏風を実際に折ることができ、現実の視点でよりリアリティを感じることができたり、また1年生の56・57ペ

ージを御覧ください。原寸大の大きさを鑑賞できたりするように工夫されています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

教科書の構成の特徴を教えてください。

○古川悠紀学校教育室主幹

各発行者ともに、1年と、2・3年という構成になっております。これは、学習指導要領に「第2学年と第3学年の発達の特性を考慮して、内容の選択や題材に充てる時間数などについて十分検討すること」と記載されているためです。

「光村図書出版」は、別冊資料があり、3年間を通して使う材料や用具がまとめられています。意見交流会においても、資料集が便利、1年生で教えたことなど、教科書を持ってこさせなくても学んだことが復習できるという意見がありました。

「日本文教出版」については、2・3年をさらに上・下に分け、3冊構成とすることで、より発達の段階を重視した学びが深められるように配慮されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

各発行者の教科書は人権についても配慮された内容となっていると思うのですが、具体的にどのような点が配慮されているのか教えてください。

○古川悠紀学校教育室主幹

各発行者ともにUDフォントの使用、カラーユニ

バースデザインなど工夫されております。また、平和をテーマにしたゲルニカの取扱いや、防災の観点などの東日本大震災をテーマにした作品の取扱いについても各社、工夫しております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに何か御質問はございませんか、よろしいでしょうか。

それでは、質問も出尽くしたようですので、美術についての審議を終了いたします。

議案第54号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 美術の採択について、各委員の御意見をお伺いしたいと思います。

安達職務代理者からお願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

私は美術に関して結構悩みまして、各社ともきれいな写真を使っていたら、分かりやすく掲載していただいていますし、いろいろな作品が収録されていました。どうしようかなと思ったのですが、中学生の副教科でやはり普通に行っているとやや陰が薄くなりがちというところで、いかに最初の時点でつかむかというところが大事なのではないかなというふうに思いました。私としては「開隆堂」がいいかなと思ひまして、まず何といってもインパクトの大きいこのすばらしい表紙で、この1年生の教科書をぱっとめくったところに太陽の塔がバンと出ていて、メッセージもとてもよく、「何でもいいからまずやってみる、それだけなんだよ」という岡本太郎さんの言葉が添えられていると、何か作ったり描いたりしてみたいなという気持ち起きるかなというふうに思ったので、そういう理由で「開隆堂」です。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では続いて、飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私も大変悩みました。最近の子供たちの心を豊かにするということで、いろいろなことを感じてほしいという意味合いでは、結論からいうと今現時点では「開隆堂」がいいかなと思いました。ただ各社の教科書を見ていて例えば、「光村図書出版」の教科書はすごく評価しています。というのは、各社は絵をどうやって描けるかとか漫画の描き方だったりとか、そういったものを描き方、やってみる、作ってみるということをしているのですけれども、私が感じた個人の意見ですけれども、芸術の力というのですか、平和へのメッセージだったり社会へのメッセージというところを「光村図書出版」の教科書の中では芸術が持つ力というのを伝えるような、そんなような作り方をされていて、子供たちが実際に絵を描く、鑑賞するということにQRコードとかそういうのに特化すると、「開隆堂」、それから「日本文教出版」のほうとなるのですけど、ちょっと違う視点からすると「光村図書出版」も本当に捨て難い、とてもいい視点、本当の意味での芸術はということを問うているようにすごく思いました。ということですから迷いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

選定委員会の意見を重々理解した上で、私はやはり「開隆堂」の表紙に心をわしづかみにされちゃったのですね。出版社の方、頑張られたと、あっぱれという感じですよ。やはり子供の感性というか感動とか心をつかむ、先ほど安達委員もおっしゃっていましたが、見開きで岡本太郎のバンというメッセージが出たり、そういうメッセージ性とか、心をつかむというそういう力において、私も今回は先ほど言いました私のポリシーを無視して「開隆堂」を推そうと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私は「光村図書出版」を推したいと思います。その理由としましては、皆さんがおっしゃるように「開隆堂」さんはもう表紙がすばらしいので、これもすごいなというふうに思ったのですが、私は「光村図書出版」を見ている中で、次はどんなのが出てくるだろう、これはどうなっているんだろうというところに私もこの教科書を見て心を動かされて、これを見たいなという、これが美術にとっては教科書にとっては大事ななと思いました。それが一番の理由ですが、そのほかに別冊資料として作ってみよう、見てみようという形でついています。これで教科書を持ってこなくても、自分が実技で美術に取り組んでいるときもこれを持っていけば、どんな材料・技法を使っているんだということを見られるということも一つの理由にあります。マイナスのことを言ってしまうと、授業の導入動画はほかもあるのですが、「光村図書出版」に関しては導入動画がないということで、そこもすごく悩んだのですが、それに代わるようなものもありますので、それで十分対応できるのかなというふうに思い、「光村図書出版」にいたしました。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私は「日本文教出版」を推します。理由はいっぱいあるのですけれども、発達の段階に応じて3冊に分かれているということ、それもそれぞれ内容、コンセプトがはっきりとしているということと、それから他者にはないところを少し言いますと、QRコードがかなり多いということ、それからほかの教科との絡み、道徳との関連とかというのが書かれているということ、それからQRコードがいっぱい

あるので、自主的な学びにつながるのですが、それ以外にも足元に検索のワードが入っていて、自分で学ぼうと思えば学べる、一番感心したのは、2・3年の上ですけども、いわゆるビッグウェーブ、「神奈川沖波裏」があるのですけども、これが実物大で出ている。それはここしかないのと、それからほかの会社は海外の所蔵と書いてあるのですね。メトロポリタンなりロンドンなり、ここだけは東京にあるよと書いているので、実物で見に行こうと思ったら見に行けるという、そういう親近感があるということと、かなり情報がアップデートされているなという印象を持ちました。そういうところから「日本文教出版」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私は「日本文教出版」を支持したいと思います。表現とか鑑賞などの幅広い活動が基盤となる教科であると思うのですが、将来にわたって豊かな関わりを実現するための教材や資料、これが豊富な点を評価いたしました。各社ともそうだと思うのですけど、実際に実物と対比すれば、作品により再現性に劣ることが生じるかもしれませんが、この「日本文教出版」に掲載されている図版はどれも非常に明るく鮮明であって、生徒の感性を豊かにする教科用図書だと考えました。

以上です。

○大江慶博教育長

ということで、今いろいろと悩んでいるというふうなコメントをいただきながらも、「開隆堂」を支持されている方が3名、「光村図書出版」が1名、「日本文教出版」が2名ということで、どれも過半数には至っておりませんので、もう少し審議を深めたいと思いますがよろしいでしょうか。

何かこの際、ちょっと追加で確認しておきたいこと、質問をしたいことというものがあれば、この時間をお願いしたいのですけれども、いかがでしょうか。

○和田光代委員

各発行者ともデジタルコンテンツが充実していると思うのですが、それぞれの特徴を教えてください。

○古川悠紀学校教育室主幹

各発行者ともQRコンテンツが用意されており、立体的な作品を回転させて鑑賞できるようなコンテンツや作品の解説、技法、授業の導入に使用できるような動画が充実しています。

特に「日本文教出版」については、映像を途中で止めて考えさせやすく、授業の導入等にも使いやすい工夫がされています。

QRコンテンツの数につきましては、「開隆堂出版」が33個、「光村図書出版」が90個、「日本文教出版」が178個用意されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

先ほどの質疑とちょっとかぶるのですけど、各教科書の画像の特徴、見せ方、その他等について差がありましたら教えていただけますか。

○古川悠紀学校教育室主幹

先ほども述べたのですけれども、「開隆堂出版」は表紙の部分の工夫がされております。

「光村図書出版」につきましては、2・3年の27ページでございます和紙のような風合いのある紙に日本の絵画を印刷し、日本絵画の特徴を味わえるような工夫がされております。

最後に「日本文教出版」については、1年生の26ページからの屏風をもって鑑賞できる、実際にリアリティに近い形で鑑賞できるというような内容になっております。ただいま示したのものに関しましては3つ違うものになっておりますので、3社に共通した作品を今から2つ取り上げて御提示したいと思いますので、それで比較していただ

れだと思います。

まず1つ目です。俵屋宗達の「風神雷神図屏風」について、「開隆堂出版」は1年生の26ページ・27ページに掲載されております。

次に「光村図書出版」については、1年生の37ページから40ページにかけて掲載されており、最後に「日本文教出版」については、1年生の24ページ、25ページに掲載されております。

それがまず1つ目の作品になります。

次2つ目ですけれども、ゴッホの「タンギー爺さん」の肖像というものも3社共通して載っております。「開隆堂出版」では同じく1年生の14ページです。

次に「光村図書出版」は2・3年生の43ページです。

最後に「日本文教出版」は2・3年上の30ページに同じ作品が掲載されております。

場所、明るさ等に違いがありますので、その作品等を見ていただいて比較していただければと思います。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

では私からも1点、そもそも中学校で行われている美術科の授業で、この教科用図書、教科書の活用方法、これについて教えていただけますか。

○古川悠紀学校教育室主幹

授業で取り組む題材に関連したページの授業の導入での活用、また鑑賞の方法や表現技法を教えるときなどに教科書を活用しております。例えば、「日本文教出版」、2・3年生下52ページを御覧ください。動画の撮影や編集の技法について、QRコンテンツで生徒が動画を視聴でき、多様な学び方が可能です。また、「日本文教出版」は、意見交流会においても、教師が使いやすく、若手の教員にとっても使いやすい教科書であるとの意見がありました。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

ほかに質問、確認したいところはございませんか。よろしいですか。

では、2回目の審議を終了させていただきます。改めて1回目の審議、1回目の皆さんの意見表明、それから2回目の審議、この内容を踏まえてそれぞれ各委員の方々から推薦される発行者をまたお示しいただけたらと思います。

では安達職務代理人、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理人

引き続き非常に悩みますが、私としては最初と一緒に「開隆堂」がやはりいいなと、これを使って勉強をしてほしいなと思いましたので、すみません。

○大江慶博教育長

そうですね。

続いて飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

「日本文教出版」の2・3年生の下ですけど、45ページにデザインで地域を豊かにというページがあるのですね。ユニバーサルデザインであるとか、絵画の鑑賞とは別にデザインなんかを取り上げているのは各社でももちろんあるんですけど、「日本文教出版」さんは割と右側、馬路村とか、ほかの章もそうですけど、具体的な商品のデザインだとか例えば、地域の左側のページが高知の四万十だったりとか、地域おこしだったり、地域の活性化とかいろいろなことが行われる中で、ちょっと商品のところに寄り過ぎなくもないですけど、さっきも言いました芸術の力というかデザインの力で社会と関わるような1つの接点という中で、ほかは一目で伝える表示とかでユニバーサルデザインとかがあるのですけど、それをもう一歩産業と都市と地域のいろいろな格差の中でいろいろな芸術のデザインの未来みたいなこともできるのかなというところで、ものすごく迷うのですが、あと現場の先生たちの使いやすさというような

ころを考慮したときに、単に艶やかに見えるというだけではなくて、そういったところを評価してもいいのかなと、ただ直接的に営利のところという意味ではなくて、このような美術の力で活用の仕方もあるよということでの教えということで、さっきも「光村図書出版」のほうで伝えましたけど、具体的なゲルニカであったり、戦争の問題だったり、広島のことだったりについて紹介の仕方、芸術にはこんなふうに訴えて伝える力があるよということ表現されていた、そんなこともこの科目の教科書には技術的なことだったり、よく見るとか見栄えがいいとか以外にも大事なことがあるかなということがこちらにも気づかされる次第です。

長くなってすみません、物すごく悩みましたが、「日本文教出版」さんのいいところをいろいろと探しながら今もう一回説明を聞いていたのですが、「日本文教出版」さんを推すということで、以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございました。
谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

難しいです。結局デジタルでほとんど情報で得られるときに教科書の意味というのは意味があるの？思ったときに、やはりこのテクスチャー、皮膚感触と、要はモナリザの絵をドンと拡大した「開隆堂」のこれ、こういうのはとてもいいなという気がめちゃくちゃしています。

その一方で先ほどおっしゃいましたように、「日本文教出版」のある意味美術を超えたメッセージ性とか、先生の使い勝手がいいということをもう一遍再考慮した結果、私も変節します。「日本文教出版」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。
和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私はやはり初めにお話をしたように、子供たちが教科書を見て心を動かすということが美術なんかは実技種目ですので、教科書はどちらかというと実技の中で見るということが実際にそんなに多くないのではないかなと思うのです。その中で子供たちが見たところで心動くという教科書ということでやはり「光村図書出版」を推したいと思います。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。
では福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私は相変わらずで、今も「日本文教出版」を推したいと思います。追加でサポートとコメントをさせてもらって、さっき説明があった「風神雷神図」のQRコードの先を見ると、「開隆堂」と「光村図書出版」さんは拡大したりとか、解説の動画があるのですけれども、「日本文教出版」さんは当時はもちろんこんなライトはありませんので、ろうそくで見たらどうだろうというような、そういう視点で動画を作っているのですね。それで「風神雷神」のおどろおどろしさを体験できる、疑似体験ができるということまでこだわっていらっしゃるなというのをすごく感じました。

もう一つ、タンジブルの表紙のちょっとネガティブなところを申し上げますと、2・3年生の絵画なので、油絵っぽくていいのですよ。でもこれは立体の彫刻なので、タイルのところが表現されているのですが、立体なんだけどもタイルのところが凸凹しているけどそうでない、正確じゃないですよ、これをやるのであれば、私だったら中に入れて立体的な切り絵で表現するとかというのをありかなとは、勝手な批評なのですが、そういうふうに思いました。だからこれは確かに興味を引くというのは全く否定はいたしません。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

[「異議なし」の声あり]

私も「日本文教出版」を改めて支持をしたいと思います。先ほどデジタルコンテンツの数の説明があったと思うのですが、「日本文教出版」が群を抜いて多いと、やはり指導者側の引き出しであるというか、あるいは生徒がのぞきに行く、その先が非常に豊富にあるということは、学びの広がり期待できるのかなと思いますので、その点も評価をしたいと思います。

今回の採択に直接関係はないのですが、今のお話のように資料のデジタル化が進む以前は、多分できるだけ多くの図版をこの教科書に載せたいということで、特に美術の教科用図書というのはサイズアップされてきたと思うのです。ところがこのデジタル化が進んだ後もこのサイズ自体が変わらないせいか、私はどの発行者もやたら文字が多いなということがすごく気になるというか、このあたりは本当に整理する必要はないのかなというふうにも思いました。これは意見です。

○谷池雅子委員

教育長、1ついいですか。

出版社の方がひょっとして来られているかもしれませんが、美術の教科書に今後やはりコンテンツとして、もちろん学習指導要領に沿った形でですけど、入れていただいたらいいかなと思うのは、やはりデジタルのアートといいますか、そういうの作り方みたいなものは今後入れていただく必要があるのではないかなというふうに思っています。恐らくどれもそういう形では載せていないですよ、というふうに思いました。御検討いただけたらいいかと思います。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

それでは、改めて2回目、皆さんの様々な御意見、本当に悩みながらだとは思いますが、意見表明をしていただきました結果、「日本文教出版」が一番支持が多かったのかなと思いますので、「日本文教出版」を採択することに御異議ございませんでしょうか。

○大江慶博教育長

それでは、議案第54号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 美術の採択につきましては、「日本文教出版」を採択することといたします。

ここで休憩を取りたいと思います。部屋の時計で15時35分まで、約10分間休憩を取らせていただきます。

(休憩)

(再開)

○大江慶博教育長

それでは、会議を再開します。

日程4、議案第55号、「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 保健体育の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○置田晃志学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1ー12、令和7年度使用教科用図書中学校用 保健体育の選定具申を発行者順に御説明しますので、よろしくお願いします。

4つの発行者がございますが、全ての発行者において学習指導要領に基づき、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されております。また、特別支援教育の視点からユニバーサルフォントの使用やユニバーサルカラーを用いられており、視覚的にも配慮されたものとなっております。

それでは各社の特徴について御説明いたします。

初めに、「東京書籍」についてです。27ページを御覧ください。各章の扉に「この章で学習すること」として、「小学校で学習したこと」と「高校で学習すること」について内容が明記されており、校種間のつながりを示した上で、各単元の目標が分かるつくりとなっております。他教科との関連性が分かるように黄色のリンクマークがあり、教

科横断的な学習ができるよう工夫されております。

また、ほぼ全ての単元でページ右下にQRコンテンツが用意され、動画やシミュレーション、思考ツールを活用しながら、協働的な学習を通して学びが広げられるようになっております。このページでは、小学校で学習したことの振り返り動画や、保健体育に関わる職業として「チャイルドライン実施団体の代表」の方から、子供たちが悩んだときに気軽に電話やチャットで相談できる窓口があることについて紹介されています。

続いて、51ページを御覧ください。章末資料として性の多様性について取り上げられており、性の構成要素として「体の性」「心の性」「好きになる性」「社会的な性」についてなどが具体的に示され、お互いに多様な性を認め合う大切さについての記載があるなど、人権への配慮がなされています。

続いて44ページを御覧ください。ページの構成として「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」の構成にされており、特に「活用する」「広げる」の場面では、主体的・対話的で深い学びになるよう工夫されています。キーワードとして、ページ左上に重要語句がまとめられており、知識を十分に習得できるように配慮されています。

続いて、「大日本図書」についてです。104ページを御覧ください。本文を左ページ、資料を右ページに分けたシンプルで分かりやすいレイアウトに統一されており、写真や図、グラフが多く配置されており、知識を十分に習得できるように工夫されています。特に、応急手当や心肺蘇生のページには、命を守るための緊急時の手順などが分かりやすく示されています。

続いて、107ページを御覧ください。心肺蘇生法の手順について「胸骨圧迫」「AEDの使い方」など、それぞれの項目でQRコードが準備されており、ウェブコンテンツにアクセスし、協働的な学習や学習課題を共有し、学びが広げられるようになっております。

多様性の尊重についても取り上げられており、性別に関わりなく、その個性や能力を大切にする

ことができる社会の実現を目指すことが示されています。

続いて、「大修館書店」についてです。42ページを御覧ください。人間の性は複数の要素から構成され、体の性や心の性が一致しない人がいること、性的マイノリティの人たちが抱える不安や悩みの例などが紹介されています。また、男性の育児参加を促す父子健康手帳が紹介されています。

続いて、40ページを御覧ください。ページ左上の「課題をつかむ」では、生徒の興味・関心を高められるよう実生活での気づきや思考を促す問いかけをしており、「きょうの学習」「学習のまとめ」へとつなげていけるように主体的な学習が進められるような工夫がなされています。章のまとめの問題が充実しており、3つの観点別に分かれた形の問題構成となっています。ページ右下のQRコードからウェブワークシートや確認問題（保体クイズにトライ!）が利用できるようになっております。

最後に、「学研教育みらい」についてです。66ページを御覧ください。性の多様性については、「探求しようよ!」の資料としてLGBTやSOGIなど、心の多様性を具体的に取り上げられており、お互いを尊重し、多様な考え方や感じ方があることなど、人権への配慮がなされています。

続いて、116ページを御覧ください。挿絵、図などが見やすく資料として示されており、文字と図やイラストのバランスがよいつくりとなっています。左上「ウォームアップ」では、実生活に合わせた課題の発見という項目があり、自然災害時に取るべき行動や事前の家族での確認事項など、短時間で学習の課題に気づくことができ、課題発見力を高められる工夫がなされています。学習した内容を振り返るための、ページ右下「とりくメーカー」を活用し、主体的に取り組むことができたかを自己評価でき、メタ認知に関わる力を高められるよう工夫されています。

各ページに「課題の解決」や「学びの活用」の項目で「協働マーク」が示されており、ともに考え、よりよい学びを生み出すことができるよう工夫が

なされております。

保健体育につきましては、以上でございます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。

それでは、審議に入ります。御質問・御意見はございますか。

○福田知弘委員

説明、ありがとうございます。インターネットやソーシャルネットワークサービスの使用等について、各社それぞれどのように取り扱っていますか。

○置田晃志学校教育室主幹・指導主事

「東京書籍」107ページを御覧ください。こちらでは章末資料として、「インターネットと依存症」を取り上げ、依存症についての説明とともにネット依存の危険性について、「中学生のインターネット利用状況と依存傾向に関する調査」を掲載し、使用時間や使用方法について、自分の状況と照らし合わせ、見直しを図る必要性を促しています。

続いて「大修館書店」96ページを御覧ください。特集資料として「見直そうスマホの習慣」と題し、1日当たりの利用時間がカラーでグラフ化されていたり、依存チェックの項目が設けられています。

「学研」や「大日本図書」では、「インターネットやSNSを通じた犯罪」が紹介されており、犯罪に巻き込まれる危険性について事例を通して考えをまとめることができるような工夫がされております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

中学生が3年間続けて使用する教科書としてどのような工夫があるか教えてもらえますか。

○置田晃志学校教育室主幹・指導主事

「東京書籍」は巻末を御覧いただくと、巻末スキルブックが177ページに用意されております。マスクのつけ方や手洗いの方法など、健康や安全に関する20のスキルが巻末にまとめられておりますので、3年間で48単位時間程度学習する保健の授業では、実習やスキルの復習を行う際には活用しやすい形となっています。また、巻末のQRコードを読み込むと、止血法や心肺蘇生法などのスキルに関わる複数の動画がまとめられている形になっております。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

今の季節ですので、熱中症について各社で特徴的な記載がありましたら教えてください。

○置田晃志学校教育室主幹・指導主事

「大日本図書」115ページを御覧ください。こちらでは章末資料として、熱中症の応急手当についてのフローチャートで分かりやすく示されていたり、またQRコードから熱中症予防声かけプロジェクトサイトにつながり、皆で少し意識を変えて、声をかけ合うゆとりを持つことで熱中症を防ぐことができることが紹介されています。

「大修館書店」181ページを御覧ください。暑熱順化による体の変化や暑熱順化の方法について示されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

今現在の世界が抱える保健に関する課題に

について、各社どのように取り扱われているのか御説明ください。

○置田晃志学校教育室主幹・指導主事

特徴的なものとして、薬物乱用や性についての内容が挙げられます。「東京書籍」は「性」や「薬物乱用」に関する内容が章末資料を含めて充実しておりまして、薬物乱用が脳へ与える影響として、脳の様々な部分に悪影響があることを脳の図で区分を分かりやすく色分けして示されていたり、また、薬物乱用者の証言の紹介、脱法ハーブ使用による事故の新聞記事等を掲載しております。

「大修館書店」では、中学生の多くがSNSを通じて薬物を入手していたことを事例として示しています。

「学研教育みらい」と「大修館書店」では、「性情報への対処」の資料として自画撮り被害に遭った子供の数を提示し、事例を用いて被害に遭わないための対処の仕方について考える工夫がされています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

人権や共生についての取扱い、配慮についてどのようになっているか教えてください。

○置田晃志学校教育室主幹・指導主事

各社において、障害の有無や性別・年齢を超えてスポーツに親しむ様子が紹介されるなど、人権や共生についての配慮は十分になされています。中でも「東京書籍」は、登場人物がジェンダーレスの制服を着るなど、性の多様性にも配慮されているのが特徴的です。

「学研教育みらい」は、教科書のイラストに登場する人物の男女の比率や役割、背景などに偏りが出ないように配慮されています。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はございませんか。

質問も出尽くしたようですので、保健体育についての審議を終了いたします。

それでは、議案第55号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 保健体育の採択について、各委員の御意見をお伺いします。

○飴野仁子委員

「学研教育みらい」が章のまとめでチェックする項目がついていたたり、各質問の項目が該当するページが異なっていることもあって、学習した内容が確かめられやすく、そこはいいなというふうにしたのですが、総合的なバランス、いろいろな取り上げられている内容の充実度から「東京書籍」を推したいと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

保健体育の教科書に関しましては、すみません、これはどこの出版社が云々ということではなく、やはり性教育に関する不備というのがやはり大きな問題かと、どの教科書もそうですけど、思春期や卵子と精子が云々かんぬんという話はあるのですけど、それから性的接触という曖昧な言葉があったりして、次に性感染症でコンドームを使うみたいな形があって、すぽんと真ん中が抜けておると、これは学習指導要領に沿った形になるとそうならざるを得ないのでしょうけど、これは保健体育という教科書が扱わなければいけないところではないかなと思っております。どの教科書を推すとか推せへんとかという話ではなく、これは大きな問題だろうと、保健体育を教えるのであれば、やはりそういう性教育とネット依存のようなも

のは中核になると思うので、そこは出版社の方がもしいらっしゃったら、教科書検定に通るような書き方でそういう工夫がないのかなと思っております。それはすみません、余分な時間をいただいてしまいました。

私は自分の専門の、睡眠、性感染症、ネット依存というふうに絞っておのこの教科書を比較いたしました。その結果、先ほど申し上げましたようないろいろな問題はありますが、「東京書籍」の記載内容が最も優れていると評価いたしました。さらに「東京書籍」は巻末スキルブックというのが用意されていて、これは使い勝手がいいなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私も「東京書籍」を推します。理由としては、見開きで見やすいということもありますし、人権や共生についての配慮もされています。生殖機能の成熟、性の多様性といったところでなかなか先生方も説明しにくかったり、思春期で体も変わってくる時期でもあるので、より知っておいてほしいということもあり、先生からの説明もありますが、QRコードで動画も見られるようになっていっているところもいいのではないかなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私も「東京書籍」がよいと思いました。保健体育、従来から人間中心で扱っていますけども、従来も非常に幅広い内容を扱っていると思います。その中で他教科とのリンクがあったりとか、あとは

用語解説とか、あとは横断的な学習が可能になるというQRコードを含めて、そういうところで一番上手に構成されているのではないかなということです。それからレイアウト上の工夫があって、メリハリがついているということも本文と、サブのコラム的なところとの読み換えがやりやすいというふうにも感じております。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「東京書籍」（新しい保健体育）を支持したいと思います。各章が本文及び章末、資料という構成となっており、確実に運動、あるいは健康に関する課題が理解できるようになっているところを評価いたしました。掲載された男女のイラストに性の多様性に対する配慮に欠ける他の教科用図書がある中、色使いや髪形等にも工夫が見られ、巻末には日常生活で活用する知識・技能が紹介されるなど、明るく豊かな生活を営む態度が養われるものと考えます。

以上でございます。

安達職務代理人、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理人

私も「東京書籍」がよいと思っているので、皆さんと意見は一緒です。最初の巻頭にSDGsとの関連性についてとても分かりやすくパンと書いていただいていることもとても好感を持ちました。

○大江慶博教育長

それでは皆さん、保健体育につきましては「東京書籍」を支持することですので、「東京書籍」を採択することに御異議ございませんでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第55号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 保健

体育の採択につきましては、「東京書籍」を採択することといたします。

次に、日程第5、議案第56号、「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 技術家庭（技術分野）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○山埜善昭教育センター主幹・指導主事

それでは、別表1ー13、令和7年度使用教科用図書中学校用技術家庭（技術分野）の選定具申を発行者順に御説明しますので、よろしくお願いいたします。

まずは、「東京書籍」です。28・29ページを御覧ください。各節の紙面は、①目標②レッツスタート③学習課題④本文、図版⑤活動⑥まとめの活動といった学習の流れが全ページで統一されており、生徒が学習を見通しやすくなるようデザインされています。また、写真、挿絵などの資料について、製作する生徒の目線を意識した構成になっており、生徒の発達段階を考慮しながら実践的・体験的な活動がしやすくなるよう工夫されています。

4・5ページを御覧ください。「学びの工夫」では、電気回路などのシミュレーション、基礎技能動画、思考ツール、資料・図鑑などのQRコンテンツが用意されており、生徒一人一人が自ら学びたい興味・関心に応じて使用できるようになっています。

86・87ページを御覧ください。補充的な学習、発展的な学習では、編末に「技術の匠」として33人の様々な専門分野、職種の匠を紹介し、多彩なロールモデルを見ることで、生徒の新しい将来像が見つかるような工夫がなされています。

次は、「教育図書」です。36・37ページを御覧ください。「学びの工夫」では、「問題解決4ステップ」を提示し、4コマ漫画を用いながら問題解決の流れを分かりやすく理解できるように示されています。186・187ページを御覧ください。「人権の取扱い」では、「情報モラルと情報の扱い方」の中で、4つの具体的な事例をもとに、ど

のような問題が起こる可能性があるか立ち止まって考える場面が設定されています。また、187ページ下部にあるQRコードから「情報モラルチェック」を行うことができるなど、丁寧に取扱いが行われております。

最後に「開隆堂出版」です。32・33ページを御覧ください。「目標・内容の取扱い」では、材料の特性についてまとめるだけでなく、種類や特徴についてより詳しい内容を掲載するなど、各章において知識・技能をさらに高められるよう工夫されています。「人権の取扱い」については、ユニバーサルデザインについて、読みやすいUDフォントを使用したり、特別支援教育の観点から単語が途中で改行されないようにしたりすることで、全ての生徒が見やすく読みやすい教科書となるよう配慮されています。

技術については、以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

それでは、審議に入ります。御質問・御意見がございましたらお願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

生徒の作業中の事故の防止や、安全確保への配慮はどのようになっているか教えてください。

○山埜善昭教育センター主幹・指導主事

どの発行者も安全に関する箇所にマークを記すなど、作業を楽しく安全に進められるよう、生徒に注意喚起が行えるようになっております。特に「東京書籍」では、技術による問題解決を行う前に、製作の基礎技能について「TECLab」の中で工具や機器の安全な使用について取扱いが行われております。

また、「教育図書」につきましては、別冊「スキルアシスト」というもので、作業手順や工具の安全な使用について示しながら、事故防止に関する内容を記載してされています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○福田知弘委員

プログラミング教育への配慮はなされていますか。

○山埜善昭教育センター主幹・指導主事

どの発行者も、プログラミングに対する本質的な理解を図るために工夫なされております。「東京書籍」では、理解を無理なく進めるために、プログラミング体験などを新設したり、巻末にあります「プログラミング手帳」という中で、プログラミング言語を体験できるページを作ったりしております。また、高校の「情報」につながるようなプログラミング言語の紹介でありましたり、AI、データサイエンスなど最新の技術も扱われております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

キャリア教育との関連についてどのように扱われているか教えてください。

○山埜善昭教育センター主幹・指導主事

どの発行者も職業に関しまして理解を深めるとともに、キャリア形成のための学習として取り扱っております。先ほどと重なる部分があるのですが、けれども、「東京書籍」では、「技術の匠」というものが設定されておりまして、社会で活躍に携わる人などのメッセージを紹介しておりまして、生徒の勤労観・職業観、そういったものを育むように工夫されております。

「教育図書」に関しまして、「先輩からのメッセージ」というものがあります。そちらのページを設けて、高等学校で専門的に学ぶ先輩方を紹介

したりすることで、生徒の進路について考えることができるよう配慮されております。

以上です。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

個別最適な学びや協働的な学びに取り組める工夫がされていますか、教えてください。

○山埜善昭教育センター主幹・指導主事

どの発行者も個別最適な学び、協働的な学びの実現に向けた工夫が見られております。「東京書籍」では、様々な思考ツールを取り上げておりまして、自分の学びに合ったツールを選んだり、そのツールを活用して仲間と協働的な学習ができるように配慮されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

全ての生徒が使いやすいような配慮はされておりますか。

○山埜善昭教育センター主幹・指導主事

どの発行者も、特別教育やユニバーサルデザインの視点を取り入れた教科書となっております。「東京書籍」では、振り仮名を特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体というものを使って、可読性を高める配慮がなされております。

「教育図書」は、先ほどもお話をしたとおり、特別支援教育の観点から、単語が途中改行されないようにしたり、可読性の高いユニバーサルフォントを全面的に使用したり、文字が読みやすくなるよう配慮されています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに何か御質問はございませんか。

では、質問が出尽くしたようですので、技術家庭（技術分野）についての審議を終了いたします。

それでは、議案第56号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 技術家庭（技術分野）の採択について、各委員の御意見をお伺いいたします。

谷池委員からお願いします。

○谷池雅子委員

私は「東京書籍」を推します。使用実績もありますが、各節の紙面が目標からまとめまで、必ずそういう流れを明示して統一されているというのは使いやすいのではないかとこのように思います。内容におきまして、網羅すべきところを網羅されており、いいのではないかとお思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

続いて和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私も「東京書籍」を推したいと思います。理由としましては、つまずきやすい情報技術、コンピュータのところですけど、そういうところがやはり分かりやすく書いてある、工夫されているというところもよかったと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

福田委員、お願いいたします。

○福田知弘委員

私も「東京書籍」を推したいと思います。IoTとかAIへの技術分野への応用ですとか、それからものづくり、3Dプリンターとか、それからインタ

ーネットのリテラシー、プログラミング、そのあたりの内容が非常に充実しているとともに、分かりやすく整理されているということで選ばせていただきました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

安達職務代理者、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理者

私も「東京書籍」がいいと思いました。「TECH Lab」はすごく見やすいのでいいなと思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私も「東京書籍」がいいと思いました。技術はいわゆる机の上だけじゃなくて、社会とどういうふうに関わっているかという点なんかも、それからモビリティだったりAIの問題解決だったり、情報技術について、今後はAI等の発達等でまた教科書の作り方も変わってくるのかもしれませんが、現時点では「東京書籍」を推したいと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「東京書籍」を支持します。日々毎日の生活や社会が教材となる教科において、身の回りの教材として取り上げているものが各章とも的確であり、生徒自らの課題設定から構想や制作、評価、改善など課題解決の道筋が明確になっている点の評価いたしました。図版も豊富で色調が柔らかいことも生徒の興味・関心を持続させる要素であると考えました。

以上です。

○大江慶博教育長

それでは皆さん、「東京書籍」を支持するということですので、「東京書籍」を採択することに御異議ございませんでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第56号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 技術家庭（技術分野）の採択につきましては、「東京書籍」を採択することにいたします。

続いて日程第6、議案第57号、「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 技術家庭（家庭分野）の採択について」、審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○松本直史教育未来創生室主幹・指導主事

それでは、別表1ー14、令和7年度使用教科用図書中学校用 技術家庭（家庭分野）の選定具申を発行者順に御説明しますので、よろしくお願い申し上げます。

まずは「東京書籍」について、御説明させていただきます。1ページを御覧ください。こちらにあるように6編で構成されており、自立から共生へ向かうストーリーで展開されております。

次に10ページを御覧ください。10ページから始まるガイダンスでは、「1年生の最初」と「学習後」に自己評価ができるよう、16ページにはチェック欄やレーダーチャートがあり、成長の様子が一目見て分かるようになっております。

次に調理実習例は、主題材と参考題材で51題材を取り上げ、各学校の授業時数に応じて題材を選べるように配慮されております。

最後に、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させることができるよう、各編の最終ページに「学習のまとめ」が設定されております。中でも例を挙げますと110ページを御覧ください。こちらにもありますように「大切な用語の確認」として自分の言葉で説明することができるよう工夫

が施されております。

続いて、「教育図書」につきまして御説明させていただきます。全体的に資料、写真や図、挿絵などが豊富に掲載されています。104ページを御覧ください。こちらにある調理器具においては、多種多様な器具類が掲載されており、一つ一つの写真が大きくなっております。

続いて、巻末を御覧ください。こちらには料理の付録シールがついており、栄養バランスのよい献立を自らの体験を通して考えられるよう、工夫されております。

69ページを御覧ください。こちらには「センパイに聞こう!」があり、家庭分野に関連する職業に従事する先輩からのメッセージが掲載され、プロとしての視点を取り入れられています。生徒にとって進路や将来の参考となる内容となっています。

最後、「開隆堂出版」につきまして御説明させていただきます。分野ごとに生徒が興味・関心を持てるように、42ページや108ページを御覧ください。生活に密着した身近な食品や乳児の手足形等の原寸大写真を掲載し、一目見て理解できるように工夫されております。

次にSDGsの前文である、「誰一人取り残さない」を強調し、元ヤングケアラー、里親の元で育つ人、トランスジェンダーの中学生、女子教育の権利を主張する人など、様々な立場の人々が掲載され、その人自身のことを知ることで、他者理解ができ、誰もが認め合い、尊重し合えるような工夫がされております。

続いて、34ページ・35ページを御覧ください。生徒同士で対話したり、意見を交換したりできるような学習活動を取り入れており、生徒同士や家族・身近な人たちとの会話を通して考えを明確にする等、生徒自らの考えを広げて深められるような仕組みになっております。

次に、62ページを御覧ください。生徒が将来を考える参考となるよう、家庭分野に関連する職業に従事する方のメッセージを「先輩からのエール」として、各所に掲載されております。

最後に、教科書の総ページが多く、その中で

「A家族・家庭生活」の単元を豊富に扱い、多種多様な家族・家庭への見方や考え方を広げられるように工夫されております。

技術家庭（家庭分野）につきましては以上でございます。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

それでは、審議に入ります。御質問がございましたらお願いします。

○和田光代委員

指導と評価の一体化と言われている中、指導内容と評価方法についてどのような工夫を施されているか教えてもらえますか。

○松本直史教育未来創生室主幹・指導主事

「東京書籍」では、110ページを御覧ください。こちらは先ほども御説明させていただきましたが、学習のまとめの中で大切な用語の確認ができるように工夫されています。

また、「教育図書」では19ページを御覧ください。下段にありますように、都度都度自己評価が書き込めるようになっております。

「開隆堂出版」では、176ページを御覧ください。自分の考えについて記述する問いや、そのスペースが大きく、言葉を覚えるだけでなく、得た知識から自分の考えをまとめることができるようになっています。また、生徒が評価を書き込める欄も用意されており、学習のまとめごとに自己評価ができるように配慮されています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

実習などでの工夫であったりとか、安全管理についてどのように取り扱われているか教えてください。

○松本直史教育未来創生室主幹・指導主事

例えば「東京書籍」では、62ページから、「開隆堂出版」では118ページ、「教育図書」については102ページからを御覧いただければと思います。各発行者とも、安全に調理や製作などの実習を進めるため、特設ページが設定されるとともに、実習時や実習時以外において、安全・衛生に気をつける場面では「安全」「衛生」マークで注意点が示されるなど、事故防止に留意するように配慮されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○福田知弘委員

経験が浅い教員の方への配慮はどのようにされていますか。

○松本直史教育未来創生室主幹・指導主事

各発行者とも授業が組み立てやすいように見開きの構成になっていることが特徴的です。また、豊富な実習例が多様に取り上げられ、様々なコンテンツが用意されています。「教育図書」や「開隆堂出版」は学習指導要領どおりの記載となっており、経験の浅い教員や臨時免許で指導する教員も指導しやすいような構成になっております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

人権について、各発行者はどのように取り扱われていますか。

○松本直史教育未来創生室主幹・指導主事

各発行者とも、役割等に性別による偏りがないように、文章、写真、挿絵、図、資料などが、人

権尊重の観点から配慮されております。

「開隆堂出版」の81ページを御覧ください。このページではトランスジェンダーの中学生について触れられていますが、ほかのページでも先ほども申したように、元ヤングケアラーであったり、里親のもとで育った人などについても触れられております。他者を理解することや多様な人が存在することについての学びを深められる内容になっております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

自分が今まで成長してきた過程を振り返るという意味で、幼児の生活や家族について各社特に工夫されていることがありましたらよろしく願います。

○松本直史教育未来創生室主幹・指導主事

「開隆堂出版」の48ページを御覧ください。年齢ごとの睡眠時間が取り上げられており、発達段階においての睡眠の大切さが記されております。また併せて、子供へのスマートフォンやタブレットの光が睡眠への悪影響につながることも触れられております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。追加の質問はいいですか。

ほかに何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、技術家庭（家庭分野）についての審議を終了いたします。

それでは、議案第57号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 技術家庭（家庭分野）の採択について、各委員の御意見をお伺いします。

和田委員からお願いします。

○和田光代委員

私は「開隆堂」を推したいと思います。その理

由としましては、まず家族、家庭生活という項目ですけど、その内容がしっかりと豊富であるということと、写真がすごく見やすく、調理実習や裁縫など実習があると思うのですが、その絵図がすごく見やすく示されているというのもよかった点です。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私も「開隆堂」を推したいと思います。先ほど質問をさせていただきましたけれども、経験が浅い教員の方でも指導しやすいような構成になっていることですか、調理の手順自体も非常に順序を追って説明をされているということなどが推しの理由になります。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

安達職務代理人、お願いします。

○安達友基子教育長職務代理人

私も「開隆堂」がいいと思いました。理由としては先ほどから出ているように、家族の多様な在り方であったりとか、他者理解についての書き方がほかの発行者よりも頭一つ分抜けていたかなというふうに思ったことに加えて、調理実習を扱っているのですけれども、その中で食物アレルギーについてのとても分かりやすい記載があったのが「開隆堂」さんだけで、一応少し抽象的には記載があったのですけれども、例えば卵がアレルギーだったらマヨネーズとかブイヨン、ハム、ソーセージも注意しなさいみたいなことまでちゃんと書いていただいていたのです。これはすごく大事なことでだと思うのですけれども、ほかにももう少し見直していただいたほうがいいのかと思いました。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。
では飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私も「開隆堂」を推薦したいと思います。衣食住って切り離されることではないのですけれども、学ぶに当たって目次でいいですよ、食生活、衣服、住生活、あえて独立してこれから学ぶような生活は参考に、学びやすいのかなというところも、今までの委員の方々の御意見に加えて感じているところです。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。
谷池委員、お願いします。

○谷池雅子委員

私も「開隆堂」を推します。その理由は、手前みそになりますけど、幼児の扱い方、睡眠の使い方、ネット関係と特に絞って内容理解を検討したときに「開隆堂」がいいと、先ほど来、それ以外にも例えば食物アレルギーの細かい書き方とか、そういう非常に細かいところまできちんと書いていらっしゃる。さらに、原寸大のディスプレイとか、こういうのはとても取っつきやすい、割と硬軟を織り交ぜて用意されていることが、子供たちにとっては取っつきやすく、ためになるのではないかなと思ひまして、「開隆堂」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「開隆堂」を支持したいと思います。家族、家庭、地域との関わりを学ぶ章に、幼児の生活を組み込んでいることや、調理例が肉、魚、野菜の順になっていること、衣食住の「衣」の学習が衣服の知識、洗濯、補修の順になっていることなど、生徒の衣食住に関連や関心が深いだろう順に教材がレイアウトされている点を評価いたします。

た。写真画像も明瞭で、教材のレイアウトとともによりよい生活の実現を生徒に促すものと考えます。

○大江慶博教育長

では皆さん、家庭分野については「開隆堂」を支持するということですので、「開隆堂」を採択することに御異議ございませんでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では異議なしと認めます。議案第57号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用、技術家庭（家庭分野）の採択につきましては、「開隆堂」を採択することといたします。

ここで会議を休憩を取らせていただきます。ちょっと短いですが、部屋の時計で16時30分をめぐりに休憩を取らせていただきます。よろしくお願いします。

(休 憩)

(再 開)

○大江慶博教育長

では、会議を再開いたします。

それでは、日程第7、議案第58号、「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用外国語・英語の採択について」、審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○吉川優莉学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1ー15、令和7年度使用教科用図書中学校用 外国語（英語）の選定具申を発行者順に御説明しますので、よろしくお願いします。

なお、本教科の学習者用デジタル教科書につきましては、調査の上、教科書採択の考慮の1事項とすることがありますので、紙の教科書と併せて御説明いたします。よろしくお願いいたします。

まずは、「東京書籍」(NEW HORIZON)につ

いてです。目的・場面・状況を意識し、4技能5領域をバランスよく活用しながら学習できます。単元の終末にあるUnit Activityというコーナーでは、複数の技能を統合し、相手を意識した言語活動を行うことができます。

1年生巻末の157ページから160ページを御覧ください。Small Talkというコーナーでは、コミュニケーションに活用できる表現が帯活動にも使えるよう、学年の段階に合わせて豊富に掲載されており、効果的かつ系統的に言語活動に取り組むことができます。

デジタル教科書において、文法を動画やイラスト、クイズを用いて家庭でも学習できるようになっています。2年生の巻頭ページを御覧ください。二次元コードを読み取り、「デジタル・マップ」にアクセスすると、世界や日本各地に関する読み物が掲載されており、自分のペースで学習に取り組むことができます。

次に、「開隆堂出版」(Sunshine)についてです。2年生32ページを御覧ください。漫画形式で新出表現が導入されており、視覚的に目的・場面・状況を理解しやすくなっています。

また、Coffee Breakというページでは、英語ならではの表現や異文化に関する情報が取り上げられ、生徒の知的好奇心をくすぐる工夫があります。

デジタル教科書において、漫画のアニメーション動画を用いて、教科書本文の対話場面を実際に見ることができます。

次に、「三省堂」(NEW CROWN)についてです。3年生27ページから33ページを御覧ください。環境や人権、平和など、社会的な話題についての読み物が充実しており、教科横断的な視点で学べるように配慮されています。

また、ペアで会話ができるSmall Talk というコーナーが充実しています。巻末の資料50から53を御覧ください。Tips for Small Talkなどのコーナーが会話表現の補助となります。

デジタル教科書において、フリーハンドのペンや消しゴム等の機能があり、紙の教科書のように書き込むことができます。また、家庭学習モードで

は、学習履歴を残すこともできます。

次に、「教育出版」(ONE WORLD)についてです。3年間を通して、生徒にとって身近な話題を中心に、多様な社会・文化への理解、進路や将来のことへと生徒が考えを広げやすい構成になっています。

1年生69ページを御覧ください。Let's Useにある二次元コードからアクセスできるウェブページ「まなびリンク」を使って、家庭学習においてもやり取りの個別練習等に活用することができます。

次に、「光村図書出版」(Here We Go!)についてです。3年生47ページから55ページを御覧ください。各単元の流れが目標までスモールステップで取り組める構成になっています。また、各単元のGoalのページには、書く活動や話す活動があり、書く活動にはモデル文、話す活動には122ページから128ページにあるActive Wordsなど、学習の補助に工夫があります。

デジタル教科書には録音機能があり、自分の発音を確認しながら家庭でも学習を進めることができます。また、登場人物になりきって音読する機能もあります。

最後に、啓林館(BLUE SKY)についてです。2年生129ページを御覧ください。「英語の学び方」という付録ページには、英語学習の具体的な方法やコツが紹介されています。

デジタル教科書において、本文の内容を再現した実写ドラマ映像があり、言語の使用場面や状況を理解しやすくなっています。

外国語・英語については以上でございます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。

それでは、審議に入ります。御意見・御質問がありましたらお願いします。

○福田知弘委員

読むことや書くことの活動で特徴的なものはありますか。

○吉川優莉学校教育室主幹・指導主事

「東京書籍」(NEW HORIZON)は、読むことについて、視点を変えることで読む活動を複数回行い、英文を適切かつ効率的に読む力を身につけられるような特徴があります。書くことについて、「Unite Activity」というコーナーに、単元を貫く問いについて考えをまとめる欄があり、二次元コードを読み取れば、書くための思考を整理する補助コンテンツが複数あり、書くことの活動を補助している特徴があります。

また、「三省堂」(NEW CROWN)は、環境や人権、平和等、社会的な話題について、読み物教材が充実しています。書くことについて、単元の途中で短い文を書き、単元の終末にまとめた文を書くよう継続して書く練習を積み重ねられるという特徴があります。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

小学校との接続について工夫がされているものについて教えてください。

○吉川優莉学校教育室主幹・指導主事

全発行者において、小学校との接続がスムーズになるように工夫がされています。

「東京書籍」(NEW HORIZON)は、「Sound and Letter」というコーナーを豊富に設け、小学校で学習した単語を音と文字のルール(フォニックス)とともに、入学当初だけでなく年間を通して、音を文字と結びつけながら復習できるような工夫がされています。

「三省堂」(NEW CROWN)は、「サイコロトーク」などを通して、小学校での既習事項を活用して、英語によるコミュニケーションに取り組んだり、単語をイラストつきで復習したりすることができ、これから始まる中学校での学習にスムーズに導いています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかにありますか。

○和田光代委員

生徒一人一人が自分のペースで学習できる工夫があるか教えてもらえますか。

○吉川優莉学校教育室主幹・指導主事

「東京書籍」(NEW HORIZON)は、二次元コードを読み取り、デジタル教科書内「デジタル・マップ」にアクセスすると、世界や日本各地に関する読み物が掲載されており、タイマー機能や日本語訳、確認クイズなどを活用し、生徒それぞれのペースで学習を進めることができます。

「教育出版」(ONE WORLD)は、二次元コードからアクセスできるウェブページのコンテンツ「まなびリンク」を使って、新出文法を使ったやり取りの個別練習等、自分のペースで学習することができます。

「啓林館」(BLUE SKY)は、「英語の学び方」という付録ページにおいて、語彙、音声、表現の観点から英語の具体的な学習方法やコツを紹介しており、自分のペースで学習できる支援をしております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

生徒が興味や関心を持って取り組める活動が充実しているものがあったら教えてください。

○吉川優莉学校教育室主幹・指導主事

開隆堂出版(Sunshine)は、単元の導入に漫画形式で新出表現が提示されており、英語に苦手意識のある生徒も興味・関心を持って取り組

みやすくなっています。

「光村図書」(Here We Go!)は、3年間を通して登場人物のストーリーがつながっており、生徒にとって共感しやすい題材を通して、興味・関心を持って楽しく英語を学ぶことができます。

「啓林館」(BLUE SKY)は、英語の歌が各学年で約3曲ずつ紹介されており、和訳も掲載されていることから、生徒が興味・関心を持って取り組める活動となっています。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ほかにありますか。

○谷池雅子委員

デジタル教科書について、特徴的な発行者はありますか。

○吉川優莉学校教育室主幹・指導主事

「東京書籍」(NEW HORIZON)は、用例辞典を活用して、3学年分の教科書本文を言語機能や日本語から検索することができ、本文を活用した上で自己表現活動につなげることができます。また、カナダからのビデオレターやカナダの中学生の日常生活を動画で見ることができ、カナダとの国際交流のような体験を通して、相手意識を持って発信活動に取り組むことができます。ほかに、「Google翻訳」を利用しやすくなっていることも特徴の1つで、英語に苦手意識を持つ生徒だけでなく、133言語に対応していることから、外国につながるのある生徒への学びを支援する手段とすることもできます。

また、「三省堂」(NEW CROWN)は、「発音チェック」という機能があり、生徒が録音した英語の音声をAIが評価することで、聞き手に伝わりやすい発音を意識して練習することができます。また、「英和辞典」を活用し、調べたい単語を検索、またはアルファベット順に単語を見れば、単語の用法・用例、反対語や発音等を確認したり、その単語を使用するに当たってのポイントを見たり、1つの単語に対する知識を増やすことができ

ます。

以上でございます。

○大江慶博教育長

ほかに御質問はありますか。

○谷池雅子委員

デジタル教科書についてのアクセスの状態なのですが、今おっしゃったことが確認できなかったですね。例えば「Google翻訳機能」とか、それとか「三省堂」の辞書を使ったり、そういうことは実際に確実にできるのですね。

○吉川優莉学校教育室主幹・指導主事

「Google翻訳」の133言語に対応ということに関しましては、現在体験版ということですので、確認が取れていない部分はございますが、「三省堂」の英和辞典に関しましては、実際に活用することができることを確認しております。

以上でございます。

○谷池雅子委員

これは出版社の方がもしいらっしゃったらお願いですけれども、教科書採択の中で英語でデジタル教科書というのはついておりますので、教科書の選定をするこの時点で体験版ではなくて、評価できるバージョンで間に合わせていただきたいと、そうじゃないと本当にどれがいいのかということのを確信を持って推薦できないということがありますので、それはぜひよろしくお願ひしたいというふうに思います。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問・御意見はございますか。

質問が出尽くしたようですので、外国語・英語についての審議を終了いたします。議案第58号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用外国語・英語の採択について、各委員の御意見をお伺いします。

○福田知弘委員

私は「東京書籍」がいいと思いました。質問もさせていただきましたが、中学校からいよいよ読むこと、書くことが本格的に始まる中で、題材が身近なものを選んでいるということ、導入がしやすいだろうということがあります。

それからもう一つは、学ぶモチベーションですね、動機として多様な国々の状況とかを題材として取り上げているということで、世界を意識できるという構成のところが大切なというふうに感じました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

○安達友基子教育長職務代理者

私も「東京書籍」がいいと思いました。中の構成など、ほかの各社もそれほど大きく差はないかなとも思ったのですが、先ほど谷池委員からの指摘もありましたけども、今見ている範囲でもデジタルマップであったり、デジタルの部分は充実しているように思ったので、そこがいいかなと思いました。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私は「三省堂」を推します。「東京書籍」と随分迷ったのですが、自然調での話題がぎゅっと充実しているところとか、紙面上での資料編であるとか、後半のところでの充実度というので勉強がしやすいかなというふうに思いました。

それと英和辞典ともうまくリンクができていてということも、「Google翻訳」よりはそちらのほうが必要な機能かなというふうに思いましたので、「三省堂」のNEW CROWNを推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

○谷池雅子委員

私も「三省堂」のNEW CROWNかどうかというので迷ったのですよね、何がNEW CROWNでいいかというと、文章の内容が社会的な、割と知ってほしいという内容を取り扱っている、これは高校生用のNEW CROWNと共通していると親戚の子供に教えてもらいましたけど、それと「三省堂」辞書機能はデジタル教科書で自分なりに確かめたかったなという気がします。それができなかったのも、くるっと回って「東京書籍」のNEW HORIZON を推します。なぜかといいますと、その親戚の子供がやはりイラスト、キャラクターが本当にかわいくて親しみやすいと、これなら英語がバリバリ勉強できそうとか、写真が多めでどんどん見ていきたくなるレイアウトで、本当にやはり一番これがいいというようなこともあり、プラス「Unit Activity」とか、Small Talkとか、この辺の作りがやはり上手かなと、先ほどおっしゃいました133言語のGoogle翻訳にもし対応するのであれば、今吹田市が抱えています多様な国籍を持つ言葉、言語の持つ子供の問題解決にもなるのかなと思って、「東京書籍」のNEW HORIZON を推します。

○大江慶博教育長

ありがとうございました。

○和田光代委員

私も「東京書籍」を推したいと思います。理由としては、小学生で習ったことを丁寧に学習できるという点と、QRコンテンツなんかを使いながら自分に合った方法で学習ができるという点です。文法解説の動画なんかもあり、教室で用語解説なんか分からなくても、その動画を見れば自習して見られるということが3年間通して文法解説の動画が入っていますので、そんなのも自分に合った学習ができるのかなというふうに思いました。

○大江慶博教育長

ありがとうございました。

私も「東京書籍」(NEW HORIZON)を支持したいと思います。聞くこと、読むこと、対話すること、思いや考えを発すること、書くことのバランスが取れた学習を展開するに適した教科用図書であり、学ぶ側も指導する側も取り組みやすい構成になっていることなどを評価いたしました。

本市における小学校からの連続した取組や、中学校3年間で期待する学習成果を踏まえると、1年生の段階から多くの単語や文に出会うことは重要であり、デジタルの活用にも様々な工夫が見られることから、自学自習の活用を含め、生徒の興味・関心に幅広く対応できるものと考えます。

以上です。

○大江慶博教育長

では、外国語(英語)につきましては、「東京書籍」を支持される方が5名、「三省堂」を支持された方が1名ということでしたので、「東京書籍」を採択することに御異議ございませんでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第58号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用外国語(英語)の採択につきましては、「東京書籍」を採択することといたします。

次に日程第8、議案第59号、「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 特別の教科道徳の採択について」、審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

○島野良太学校教育室主幹・指導主事

それでは、別表1ー16、令和7年度使用教科用図書中学校用の特別の教科(道徳)の選定具申について、発行者順に御説明させていただきます。

初めに、「東京書籍」について、御説明いたします。1年生の教科書、目次を御覧ください。「いじめのない世界へ」、「いのちを考える」というユニットが、それぞれ3つの教材で構成されています。「plus」という教材と関連したテーマをさらに深化・拡充させるコラムが掲載されています。例えば全学年において、ソーシャルスキルに関するコラムが用意されています。

同じく、1年生の教科書、10ページを御覧ください。各教材に「つぶやき」の欄が設けられておりまして、思ったこと、考えたことなどを自由に記述でき、メモする習慣がつけられるように工夫されています。

また、全ての教材にQRコードがあり、速度調節が可能な朗読音声やデジタル心情円、VR映像など、QRコンテンツが充実しています。また、NHK for Schoolの番組を取り入れ、楽しく授業に参加できるような工夫が見られます。

続きまして、「教育出版」について御説明させていただきます。こちらも1年生の教科書、目次を御覧ください。各学年本教材30本と、補充教材5本で構成されており、内容項目は本教材30本で充足されておりまして、5本の補助教材は、自作教材等と差し替えて、学校や地域に合ったカリキュラムをつくることもできるように工夫されています。「いじめをなくそう」「いのちをかがやかせる」といったユニットに加え、多様な人々や自然環境との共生、そして持続可能な社会の在り方について考えるユニット「つながり合って生きる」があります。

1年生の教科書、8ページを御覧ください。各教材の冒頭には指導のねらいが示されており、その時間で学ぶ大きなテーマが分かりやすく、学習内容に入りやすくなっています。

続きまして、「光村図書出版」について御説明させていただきます。こちらも1年生の教科書、目次を御覧ください。教材内容が関連づけて配置されており、複数のテーマについて横断的に考えを深めることができるようにユニットが構成されています。ユニットから何について考えるのか明確に示されています。「いじめを許さない心に

について考える」というユニットでは、学級のいじめ対策につなげることができるように、6月頃に配置されております。「やってみよう」というページでは、人間関係の理解などの課題、1年では「自分の気持ちを相手に伝えるには」、2年では「アンガーマネジメント」、3年では「セルフエスティーム」（自分を受け入れる感情や自尊心）について、体験的な学習を通して深く考えることができるよう工夫されております。

1年生の教科書、82ページを御覧ください。絵本作家ヨシタケシンスケ氏の書き下ろし、「なんだろうなんだろう」が掲載されています。哲学的な問いが、親しみやすい絵と分かりやすい言葉で示されております。

同じく1年生の教科書、117ページを御覧ください。人権問題を取り扱う内容が身近に感じられるような内容が多数あり、ユニット「共に生きるために大切なこととは？」の扉についているQRコードからは、「世界人権宣言」、「子どもの権利条約」、「日本国憲法前文」を読むことができるようになっております。

続きまして、「日本文教出版」について御説明させていただきます。こちらも1年生の教科書、目次を御覧ください。「いじめと向き合う」、「よりよい社会を考える」の2つのユニットが年に複数回配置されております。

1年生の教科書、11ページを御覧ください。各教材末尾にあります「自分にプラスワン」は、主体的で深い学びにつながる工夫がされており、その学びを別冊の「道徳ノート」に書くことで、心の成長を実感することができるようになっております。

全ての教材にQRコードがついており、朗読音声をはじめ、心情メーター、シンキングツール、ワークシートが用意されております。また、人物略歴、人物関係図、画像や動画、外部リンク等、多数掲載されております。

以上でございます。

次に、「学研」について御説明させていただきます。こちらも1年生の教科書、目次を御覧ください。最重点テーマを「いのちの教育」とし、内容項

目「生命の尊さ」は、各学年3本ずつ配置しております。また、いじめ防止のために、直接的・間接的に考えられる教材を、年間を通して掲載しています。

各学年において、「持続可能な世界のために」（SDGs）、「色とりどりに輝く」（多様性）、「未来に向かって」（キャリア）のユニット学習を設定しております。

続きまして、「あかつき教育図書」について御説明させていただきます。1年生の教科書、目次を御覧ください。「いじめ」を考える、「情報モラル」、「キャリア」についてユニット化されて、学年ごとに連続して、複数の教材を設けております。また、2年からは、「共に生きる社会」についてもユニット化されております。

終末用の動画がある教材では、インタビュー等を聞いて、さらに考えを深め、余韻を残して授業を締めくくることができるよう工夫されております。

最後に、「日本教科書」について説明させていただきます。教科書の表紙を御覧ください。唯一教科書のタイトルが違います。「生きること」についての方向性がはっきりしており、生徒が考えを持ちやすい内容になっております。いじめにつながるシーンを各学年で複数採用し、学校生活の中でいじめに陥りやすい場面を取り上げております。

特別の教科道徳については以上でございます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。

それでは、審議に入ります。御質問・御意見がありましたらお願いします。

○谷池雅子委員

いじめや生命の大切さに関する教材について、各発行者でどのような特徴がありますか。

○島野良太学校教育室主幹・指導主事

どの発行者も全学年を通して、いじめに関する

教材を扱っており、3年間を通してじっくり考えられるようになっております。

例えば先ほども申しましたが、「日本文教出版」は、いじめに関する教材が複数配置してあります。

また、「光村図書出版」、例えばで申しますと2年生の教科書43ページを御覧ください。全学年に「いじめを許さない心について考える」ユニットが設けられております。ユニットの3教材目には、「まなびをプラス」を配置しております。2年生では「『いじり』って」という教材が掲載されており、前の時間に教材を読んで考えたことを、次の時間に自分に引きつけて考えたり、違う角度から迫るすることで、実感を伴った学びへと深めることができる工夫がされております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいでしょうか。

ほかに御質問はありますか。

○福田知弘委員

情報モラルに関する教材について、各発行者はどのように扱っていますか。

○島野良太学校教育室主幹・指導主事

どの発行者も全学年を通して情報モラルに関する教材を扱っております。

例えば、「東京書籍」でございますが、全学年に複数教材掲載されており、各学年その中の1つは、トラブルが増える夏休み前の6月に配置されております。

ほかに、「光村図書出版」でございますが、1年では自分と異なる他者とのコミュニケーションについて学んだ後、節度のある端末の使い方について考え、2年ではインターネットに夢中になるメカニズムについて学んだ後に、SNS上での「ブロック」の適否について考え、3年では無断アップロード（著作権）とSNSでの「炎上」について段階を踏んで学ぶ構成になっております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○飴野仁子委員

物事について多面的に、それから多角的に考えること、それから主体的・対話的で深く学ぶような、そんなことを実現するために発行者間でどのような工夫があるか教えてください。

○島野良太学校教育室主幹・指導主事

例えば、「教育出版」では、「やってみよう」というページがございます。役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動が取り入れられております。体験的な学習によって、人間関係の理解などの課題を自分事として深く考えられるよう工夫されております。

ほかに、「光村図書出版」でございますが、人間関係の理解などの課題について、こちらも体験的な学習を通して深く考えることができるよう工夫されております。「まなびをプラス」という前回の授業を別の観点や活動で深めるページも設けられております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○和田光代委員

補充的、発展的な学習を実現するために各発行者が工夫していることを教えてください。

○島野良太学校教育室主幹・指導主事

例えば、「東京書籍」では、先ほども申しましたが「plus」というページで、教材の内容を日常生活と結びつけ、他者と話し合いながら学び、深く心にとめられるよう工夫がされております。

ほかに、「光村図書出版」では、各教材の末尾にある「見方を変えて」「つなげよう」におきまして、学んだことを日常生活と関連づけて多面的・

多角的な視点から考えたり、新しい見方や考え方を発見して深く心にとめられたりできるよう工夫されております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はありますか。

○安達友基子教育長職務代理者

世界人権宣言や、子どもの権利条約について取り上げている発行者があったら教えてください。

○島野良太学校教育室主幹・指導主事

まず、「東京書籍」3年生の教科書でございますけども、106ページを御覧ください。こちらは「plus」コラムで「子どもの権利条約」が取り上げられております。

ほかにですけども、先ほども申し上げましたが、「光村図書出版」におきましては例えばですけども、1年生の117ページの扉でございますが、ユニット「共に生きるために大切なこととは？」の扉についているQRコードからは、こちらは1・2・3年全ての学年でございます。いつでも「世界人権宣言」、「子どもの権利条約」、また「日本国憲法前文」を読むことができるようになっております。

以上でございます。

○大江慶博教育長

よろしいですか。

ほかに御質問はございませんか。

では、質問が出尽くしたようですので、特別の教科(道徳)についての審議を終了いたします。

それでは、議案第59号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 特別の教科(道徳)の採択について、各委員の御意見をお伺いいたします。

○安達友基子教育長職務代理者

私は「光村図書出版」がいいと思いました。理由ですけども、私が道徳の教科書を見るに当たっては、いろいろなことを道徳で学ぶわけですが、

ども、特にいじめを許さないということ、それから人権の問題をどのように扱っているか、その2点に重きを置いて見ていたのですけれども、それら子供たちが考えていくに当たって、教材の選定がまず「光村図書出版」さんはやはりよく考えられているなというふうに思ったことと、配置も6月頃の今から学級をつくっていくというところでしょうかといういじめについて考えられるような構成になっていることであったり、見方を変えて、より考えを深めていけるのではないかなということ、これを使ってもらえたらなというふうに思いました。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では飴野委員、お願いします。

○飴野仁子委員

私は「光村図書出版」を推薦します。理由は先ほども質問の中で多面的・多角的に考えるというようなところもありましたけども、いろいろな角度から人権について繰り返し考える、考えてもらう、そういう教科書の作りになっているのが、一番「光村図書出版」ではないかなというふうに感じました。偏見とかそういうところをつくらせないとか、持たせないとか、そんなところで「光村図書出版」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では谷池委員、お願いいたします。

○谷池雅子委員

私も「光村図書出版」を推します。吹田市はいじめ予防授業というのをやってきていますけど、その中で「光村図書出版」の教科書を使って並行してやっていますので、それが変更になるということは現場の先生も大変になるということも考えましたが、もちろんそれだけではなく、内容を見ますといじめ、性の多様性、子ども権利条約等々割り

に公正な記載を確認いたしました上に、子供の学び、自分で考えるということを促進するような、そういういろいろな仕掛けをされているということで、「光村図書出版」を推します。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では和田委員、お願いします。

○和田光代委員

私も「光村図書出版」を推したいと思います。理由としましては、文章量も読みやすい量だと思いますし、その文章の教材の一番最後のところに「考えよう、見方を変えよう、つなげよう」というポイントがあるのですが、そこの表現が非常にシンプルで分かりやすいと、生徒たちにもそういうところで、どんどん難しさが先に出てくると思うのですけれども、そういう状況で自分の気持ちが素直に出て、次に見方を変えてつなげようという形で深めていけるということが非常によかったと思います。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

では福田委員、お願いします。

○福田知弘委員

私も「光村図書出版」がいいと思いました。1つは目次の構成なんかでユニットをしっかりと構成されていて、その中でいじめと情報モラル、こういうところを強調されているということ、それから題材として現代社会における課題を幅広く取り上げつつ、ふだんの生活の中で判断に迷うような場面を取り上げながら生徒さんが議論できるような工夫がなされているということが選択の理由です。

以上です。

○大江慶博教育長

ありがとうございます。

私も「光村図書出版」を支持いたします。人権を正しく学ぶことはいじめ予防やデジタル時代教育の基盤づくりとなる、学校や学年、学級のよい風土の醸成にもつながると考えますが、この学習のテーマを人権と明記し、20ページほどの紙面を割り当てて、教材を提示しているところを評価いたしました。他教科と関連がある教材にはマークが施されており、巻末には教材ごとのキーワードやテーマを一覧で示すなど、生徒の関心や課題に応じた指導展開が可能となる工夫が見られるというふうに考えます。

以上です。

○大江慶博教育長

では、特別の教科道徳につきましては、皆さん「光村図書出版」を推薦されておられます。「光村図書出版」を採択することに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

では、異議なしと認めます。議案第59号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用 特別の教科道徳の採択につきましては、「光村図書出版」を採択することといたします。

次に、日程第9、議案第60号、「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

日程第9、議案第60号「吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」の御説明を申し上げます。

選定委員会からの本議案にかかる答申についてでございますが、別表2にもありますように、吹田市におきましては、従来より、障害のある児童

生徒の社会参加や自立を実現させる観点に立ち、可能な限り全ての児童生徒が、ともに学び、ともに育つよう配慮しており、支援学級に在籍する児童生徒も、通常学級の児童生徒と同じ教科用図書を採択し、学校教育法附則第9条に規定される教科用図書につきましては、別途採用をしておりません。しかしながら、小・中学校に在籍する児童生徒のうち、弱視児童生徒については、学校教育法附則第9条に基づき、令和7年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することが望ましいため、御承認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。

それでは、何か御質問はございませんか。

それでは、この件を承認することに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

異議なしと認めます。議案第60号、吹田市令和7年度使用教科用図書中学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択についてを承認いたします。

続けて、日程第10、議案第61号、「吹田市令和7年度使用教科用図書小学校用の採択について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

日程第10、議案第61号「吹田市令和7年度使用教科用図書小学校用の採択について」の御説明させていただきます。

本件は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条の規定に基づき、別表のとおり、令和6年度と同一の教科用図書を採択するものです。

教科用図書につきましては、「義務教育諸学

校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条により、政令で定める期間は、同一の教科用図書を採択することとなっており、小学校の教科用図書は来年度採択替えの年に当たらないことから、令和7年度は令和6年度と同一の教科用図書を採択するものでございます。

以上でございます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。何か御質問はございませんか。

それでは、この件を承認することに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

異議なしと認めます。議案第61号、「吹田市令和7年度使用教科用図書 小学校用の採択について」を承認いたします。

次に日程第11、議案第62号、「吹田市令和7年度使用教科用図書 小学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を議題といたします。

○西慎一郎学校教育室参事・指導主事

日程第11、議案第62号「吹田市令和7年度使用教科用図書小学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」の御説明を申し上げます。

本議案につきましては、先ほど日程第9、議案第60号で御説明いたしました中学校用と同内容の趣旨でございます。したがって、小学校用につきましても、学校教育法附則第9条に基づき、令和7年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大した「拡大教科書」を採択することが望ましいと考えますので、御承認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○大江慶博教育長

説明が終わりました。何か御質問はございませんか。

それでは、この件を承認することに御異議ございませんか。

[「異議なし」の声あり]

○大江慶博教育長

異議なしと認めます。議案第62号、「吹田市令和7年度使用教科用図書 小学校用の学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について」を承認いたします。

ここからは既に秘密会と決していますので、恐れ入りますが、傍聴の方は係の者の案内に沿って退室をお願いいたします。

暫時休憩します。

－ 傍聴者退席 －

－ 秘密会－

○大江慶博教育長

ここで秘密会を解きます。

それでは、これをもちまして、本日の議事日程を終了いたしましたので、7月定例教育委員会会議を閉会とします。

お疲れさまでした。